



相模原養護学校から相模原支援学校へバトンを“つなぐ”

校長 見目 茂 則



小学部 6 年生、中学部 3 年生、高等部 3 年生の皆さん方の卒業式は、もう間もなくです。また、その他の学年の皆さんには、修了式が控えています。それぞれ、新社会人や新学年に進んでいきます。そして、学校も来年度の 4/1 から校名が、相模原養護学校から「相模原支援学校」に変更され、新しい学校名としてスタートします。昭和 50 年、1975 年から 48 年間に渡り、現在の学校名に、大変長らくお世話になりました。学校名が変わっても、48 年間の歴史と伝統は、しっかりと引き継いでいくつもりです。(右の本校校名板は、初代校長 江成忠夫 氏の揮毫によるもの。右は分教室にある校名板)

3 年の長きに渡って続いたコロナ対応も、過日の報道等の通り、ようやく終息が見えてきました。これからの教育活動にも、コロナ以後を意識した計画を立て始め、あるいは、既に実施しています。今年度は、来年度の助走期間と捉え、早速リニューアルした活動の実施や、新しい活動も行ってきました。また、一部制約を施しながらも、学校説明会や外部講師等による公開研修会、本校教員対象の授業研究会も実施しました。そして、何よりも子どもたちの活動内容の満足度を少しでも上げるために、校外活動、特に、外食を伴う活動や宿泊を伴う行事を再開しました。コロナ禍であっても、これまで交流等により深い関係を築いてきた外部機関とは、教育効果も考え、可能な限り実施しました。コロナと並走しながらも、時には防戦を強いられ、時には押し返したりとしましたが、全体を通すと前進していたのではと思っています。これからは、これまでの内容にこだわらず、一工夫も二工夫もされた方法で取組むことに期待しています。

さて、来年度は児童生徒数の増加も見込まれ、校内教員体制も例年のように大きく変わります。学校名刷新を好機と捉え、教職員、PTA、学校運営協議会委員の三者が、より一層連携を深め、「相模原支援学校」に継承していきたいと考えています。



経験を力に!

副校長 比留川 はるか

子どもたちはこの一年間、たくさんのことを学びました。毎日学校で仲間と一緒にいろいろなことを体験して、「できた!」「わかった!」と次々と発見しました。新しいことや初めてのことが少し不安な時も、他の仲間が取組む姿を見て「自分もやってみようかな」と一歩を踏み出す勇気を発揮して、昨日より今日…とコツコツと力をつけ、大きく成長しました。担任や学年学部の先生方の温かな見守りやバックアップも心強かったことと思います。子どもたちの可能性を信じて、未経験のことにもチャレンジ(挑戦)、ご家庭や学校、地域等で練習や学習、体験を繰り返し、着実に一つ大人の階段を上がりました。

3 月は別れの季節…寂しい気持ちになりますが、新たなステージへ旅立つ時でもあります。そして、4 月は出会いの季節、新たな環境で心機一転スタートする時です。私たち大人も戸惑うことがあるこの時期、保護者の皆様とともに、子どもたちをしっかりとサポートしてまいりたいと思います。児童生徒の皆さん、これまでの経験を大きな力にして、新しい先生や仲間とまたいろいろなことを学習しましょう。ご卒業・ご進級おめでとうございます!



今だからこそ

教頭 藤原 英明

世界を見渡すと災害や戦火の混乱で厳しい状況に置かれている方が大勢います。国内でもその影響が私たちの生活の様々な部分に波及しており、先行きが不安になります。

『進む時は前を向いて、暮らす時には※下を向いて』これは日本プロ野球界の至宝、野村克也さんが、生前監督時代に春季キャンプ等で選手たちに説いていた言葉の一つです。

「勉強や仕事においては目標を高く置き、前を向いて進むことが大切だ。生活においては自分よりも不遇な人、苦しんでいる人が大勢いることを知ると、自分はまだ恵まれていることを実感する。すると自然に感謝の気持ちが生まれる。」

という意味で、野村さんが選手たちに、まず野球の技術を身につけるよりも人間としての成長を求めていたことをうかがわせます。困難が立ちただかっても前を向き、そして感謝の気持ちを忘れない…今だからこそ、実行することが簡単なようで、難しいこの言葉の重みを実感します。こうした気持ちを忘れずに行動し、職員や子ども達へ範を示すことがとても大切だと感じます。

(※下を向いて=上下関係ではなく頭を垂れ、謙虚な姿勢であれと解釈しています。)





卒業に向けて

6年生は卒業に向けて「つくる」「たいけん」「でかける」「れんしゅう」という4つのキーワードで学習をしています。

1月は中学部体験入学に向けて「たいけん」の学習を行いました。中学部の先生方のビデオメッセージを見たりしながら体験入学へのイメージを膨らませました。

先日は「でかける」で、卒業遠足の学習を行いました。行先のアストレアスポーツクラブの施設の動画を見たり、お昼ごはんをテイクアウトするモスバーガーまでの道のりを確認したりしながら、2月9日(木)の遠足当日も、楽しく元気に遠足に行ってくることができました。

引き続き卒業までみんなで楽しく元気に過ごしていきたいと思います。(小学部6年生担任)

大人への道のり ~皆様に心より感謝をこめて~

高等部に入学してから、早くも3年の月日が過ぎようとしています。校外学習、遠足や修学旅行、地域交流など、様々な行事で友情を育み、貴重な経験を積んできました。

学生から社会人になる大きな節目を迎えました。今まで働く力を磨き、卒業後の進路選択を行い、未来を切り拓いてきました。時には、大変なこともあったと思います。心も体も大きく成長し、



こうして3年間の教育課程の修了を迎える姿がとても輝かしく、頼もしく感じます。そして、晴れやかな門出となるご卒業、おめでとうございます。

いつも温かく見守り協力していただいたご家庭の皆様、多様な経験の機会へのご支援やご協力をいただいた諸関係の皆様にご心より感謝申し上げます。(高等部3年生チーフ)



第20回ティーボール大会

11月19日(土)にサーティーフォー保土ヶ谷球場で第20回ティーボール大会が行われました。本校からは高等部生徒(分教室含む)25名が参加しました。

大会当日は、保土ヶ谷球場の広さやセンター後方の電光掲示板の大きさに驚きを隠せない生徒や、天然芝で試合ができることにモチベーションが最高潮になる生徒もいました。対戦した伊勢原養護学校と湘南養護学校には共に敗れてしまいましたが、晴天の中、活気あふれる声飛び交い、ハツラツとしたプレーが見られました。試合後は「また来たい!」という声がありました。次回大会もより多くの生徒に参加してほしいと思います。(高等部活動担当)



特体連サッカー冬季大会(2部)

1月29日(日)に國學院大學相模原グラウンドにて、第30回サッカー冬季大会が行われました。本校からは高等部生徒(分教室含む)12名が参加しました。

大会当日は青空が澄み渡るほどの良好なコンディションの中、広大な人工芝のグラウンドでサッカーができる喜びを感じながら、チーム一丸となって試合に臨む子どもたちの様子が見られました。



結果は、保土ヶ谷養護学校戦は勝利、湘南養護学校戦は負けてしまいましたが、大会を通じて一致団結する姿やお互いに健闘を讃え合う姿も見られた良い大会となりました。(高等部活動担当)

「いろんなかお」を大切にね

3年間の中学部生活もあっという間にあと10日ほどですね。毎日登校することでもできなかったあの頃が少し懐かしくも感じます。できることも限られた環境の中でしたが、それでも一生懸命ひたむきに、前向きに、時には涙したり、時には怒ったり、友だちを支えたり、支えられたり、たくさんの経験をしてきましたね。でも行き着いた先にはいつも素敵な笑顔が見られました。「いろんなかお」これからも大切に、泣いて怒って困って悩んでたくさん笑って、素敵な高等部生活を送ってくださいね。卒業おめでとうございます。(中学部3年担任)



絆 ~最高の仲間たち~

ご卒業おめでとうございます!入学した時は、コロナウイルスが拡大し始めた時で新学期はとても不安だったと思います。活動等も制限された中の学校生活でした。でも、そんな時だからこそみんなの「絆」が強くなり団結力が深まった3年間だったと思います。3年生では修学旅行や橋本高校の文化祭への参加、これぞ、高校生活!という行事を自分たちで計画して大成功させることができました。どんなことも仲間たちと乗り越えてきましたね!

ここで出会った仲間はこれから先も大切な仲間です。これから先楽しいこと、辛いこと色々あると思います。そんな時は、分教室の仲間を思い出してください。きっと大丈夫、どんなことも乗り越えられます。

みんなと出会えて良かったです。最高の1年間をありがとう!ずっと応援しています!(分教室3年生担任)



冬季陸上競技記録会

12月17日(土)に冬季陸上記録会に本校生徒8名、分教室生徒1名、計9名の生徒が参加しました。夏季陸上競技記録会が雨のため中止になったということもあり、冬季の記録会に参加できたことに生徒たちの喜びの表情が見られました。

競技後にやり切った表情をする生徒や、悔しそうにする生徒もいて、互いを励ましあう場面も見られました。自分の競技が終わっても、他の生徒が参加している競技を応援するなど、心温まる場面が多くありました。たくさんの保護者の方たちにも応援や支援をいただき最高の大会となりました。本当にありがとうございました。(高等部活動担当)



部活動

冬の活動報告

特体連バスケットボール冬季大会

特体連バスケットボール冬季大会が2月4日(土)(男子1部)、2月11日(土)(女子2部)に実施されました。本校からは高等部生徒(分教室含む)22名(男子16人、女子6人)が参加しました。結果は、男子第6位、女子準優勝でした。コート仲間をベンチから鼓舞する姿やブザーが鳴るまであきらめない姿勢が印象的でした。試合後に「どうだった?」と聞くと、「楽しかった。また参加したい。」「負けて悔しかった。」などと様々な感想を伝えてくれました。3年生にとっては最後の大会となりましたが、良い思い出となったのではないのでしょうか。また、1・2年生については、来年度の大会でも活躍する姿が見られることを楽しみにしています。(高等部活動担当)

